

埼玉県立大学 地域包括ケア推進セミナー
第1回 地域の社会資源を知ろう①

報告2

県内生協の概要と取り組みについて

埼玉県生協連 組織担当 清水 桂（かつら）



埼玉県生活協同組合連合会



協同組合の定義・価値・原則

「協同組合のアイデンティティに関するICA声明」

【定義】

協同組合は、共同で所有し民主的に管理する事業体を通じ、共通の経済的・社会的・文化的ニーズと願いを満たすために自発的に手を結んだ人々の自治的な組織である。

※生協は、組合員の利用が原則。医療事業・福祉事業においては員外利用が可能。

生活協同組合とは？②



【価値】

協同組合は、自助、自己責任、民主主義、平等、公正、そして連帯の価値を基礎とする。それぞれの創設者の伝統を受け継ぎ、協同組合の組合員は、正直、公開、社会的責任、そして他人への配慮という倫理的価値を信条とする。

【第7原則コミュニティへの関与】

協同組合は、組合員によって承認された政策を通じてコミュニティの持続可能な発展のために活動する。

※公開は「openness」、他人への配慮は「caring for others」の訳

全国の生協のビジョン



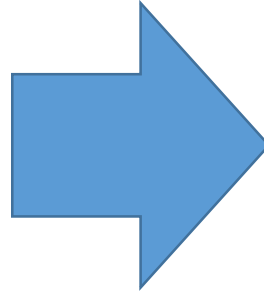
2020年ビジョン

私たちは、人と人とがつながり、笑顔があふれ、信頼が広がる新しい社会の実現をめざします

アクションプラン2

「地域社会づくりへの参加」

地域のネットワークを広げながら、地域社会づくりに参加します。



つながる力で

未来をつくる

— CO・OP 2030 —

2.安心して暮らし続けられる地域社会

私たちは、生活インフラのひとつとして、地域になくてはならない存在となり、地域のネットワークの一翼を担います。

埼玉県生協連について



埼玉県生協連
(連合会)

県内に本部のある 15 の会員生協
(合計の事業高1,794億円・組合員数のべ224万人)

生活協同組合コープみらい (宅配・店舗・福祉事業)

生活協同組合パルシステム埼玉 (宅配事業)

生活クラブ生活協同組合・埼玉 (宅配事業)

医療生協さいたま生活協同組合 (医療・福祉事業)

11の住宅・共済・福祉・保育・大学生協、事業連合など

埼玉県生協連の取り組み



第1回組合員学習会「プラスチック問題」



埼玉県との定期協議



役職員研修会「消費者志向経営」



第1回組合員活動委員会での医療生協さいたまへの支援物資・メッセージ贈呈」

埼玉県生協連の取り組み



第35回埼玉県原爆死没者慰霊式



体験稲刈り&田んぼの生きもの調査



ヒバクシャ国際署名の呼びかけ



JA埼玉県女性組織協議会との早春交流会

数字で見る県内生協の事業と活動



事業所数…143カ所（宅配センター35 店舗45 介護・福祉事業所31 病院・診療所14
老人保健施設2 有料老人ホーム1） ※組合員施設が大小56カ所

宅配車両1日平均1,400台稼働 毎週、約45万世帯にお届け

助け合いの活動（有償ボランティアによる生活支援活動）
2019年度は年間で32,285時間の活動実施（高齢者2万時間、子育て支援7,500時間）

防災協定37自治体、見守り協定のべ180自治体

自治体連携（高齢者サロン・認知症カフェ・子育て支援拠点事業・総合事業など）17件、地域包括支援センター3カ所

助成金制度による支援



- 4つの生協が独自に制度を持っている。2019年度は全体で34団体に612万円。対象はNPOや市民活動団体など。
- テーマは幅広い分野。地域でのつながりづくり。
- 2020年度の取り組み

コロナ禍でも、助け合う社会づくりを進める 市民団体を応援します！

一般財団法人コープみらい社会活動財団（コープみらい財団）は、安心して暮らせる社会づくりを目指して、さまざまな社会活動に関する事業を実施しています。

新型コロナウイルス感染の拡大と長期化の中で、私たちの生活に様々な影響が出ています。とりわけ子ども、高齢者、障害のある方など、社会的に弱い立場の方々へのしわ寄せが大きく、抱える問題の深刻化が進んでいます。

2020年度は、地域で暮らす人どうしの助け合いを推進するための助成として、「コロナに負けるな！コープみらい・市民活動助成」を実施します。



地域で活動されている団体の皆さんからのご応募をお待ちしています！！

コロナに負けるな！コープみらい・市民活動助成

<対象の活動>

- 「社会的弱者」を支援している事業・活動
- ・子どもたちに安全な居場所や食事を提供する活動
 - ・学習指導や素材等を提供する活動
 - ・生活困窮世帯や一人暮らしの高齢者に食材や日用品を届ける活動

<応募資格>

- ・これまでコープみらい財団の表彰・助成を受けていない団体
- ・公益を目的とした団体で、埼玉県内に活動拠点があり、すでに活動しているか、これから活動を立ち上げようとしている団体（法人格の有無は問いません）

「生活クラブ 福祉活動緊急助成 2020」選考結果報告

この助成は、生活クラブ生協埼玉の組合員が毎月負担する会費の中から積み立てた「地域福祉のための基金（コロ基金）」を原資として実施しました。

1. 目的

COVID-19対策としての自粛要請・緊急事態宣言により社会・経済活動が停滞することで、困難を抱える人への支援が滞り孤立と貧困が加速しています。このような情勢のなかで、私たち、生活協同組合が社会的に果たすの一つとして、社会的弱者への支援活動を行っている市民活動団体への緊急助成を行いました。

2. 助成する活動

- ①子ども食堂・地域食堂等による食支援活動
- ②生活困窮者等への食糧支援（フードバンク、フードパントリー等を含む）
- ③居場所事業を運営する団体が行う、緊急性の高い支援活動
- ④無料・低額の学習支援（オンライン学習含む）
- ⑤子どもを持つ親及び養育者を対象とした相談活動
- ⑥休業要請等によって経済的に困難な状況になった方への支援活動
- ⑦児童虐待・DV等、外出自粛によるストレス等による課題の支援活動

※選考会6月14日（日）応募総数32団体、助成総数22団体、助成額12,899,500円

福祉活動緊急助成2020 選考結果

ブロック	所在地	団体・個人・グループ名	決定額	活動分類番号
狭山	鶴ヶ島市	NPO法人こっこの会	300,000	③④⑤⑥⑦
狭山	入間市	フードバンクいるま	300,000	②

フードバンクへの食料品の提供①



“もったいないから、ありがとうへ”

- 「フードバンク埼玉」に生協ごとに参加
- 常設のフードドライブ拠点31カ所（店舗や組合員施設）
- イベントなどでのフードドライブ23カ所（2019年度）
- 2019年度のフードドライブ総重量 3,306kg
- 食品ロス削減の視点で、使わない家庭内在庫を持ち寄る
- 組合員からの持ち寄りのほかに、災害備蓄品の切り替え時など業務からの拠出（災害時にペットボトル水の拠出）
- 地域フードバンク団体や子ども食堂・パントリーにも提供

フードバンクへの食料品の提供②



コープみらいの店舗の
常設フードドライブ



コープみらいの組合員施設の
常設フードドライブ



フードバンク埼玉

イベント情報を、お知らせします

コープみらい さいたまインフォメーション

2020 8/10

埼玉県内13カ所 コードドライブ受付中

コープ春日部店・コープ熊谷店・コープ深谷店でもお預かりを開始しました

フードドライブとは、ご家庭に保管されたままの食品を提供いただく取り組みです。コーププラザ8ヵ所（春日部・熊谷・浦和・富士見・所沢・川越・深谷・大宮）、コープのお店5ヵ所（春日部店・浦和東店・武蔵浦和店・熊谷店・深谷店）でお預かりしています。今までお預かりした食品は3.9トン（2017年9月～2020年7月時点）です。引き続きご協力をお願いいたします。

お預かりした食品の流れ

食品寄贈ボックスでお預かりしています

NPO法人フードバンク埼玉
品質には問題がないにも関わらず廃棄されてしまう食品・食材を、企業や個人からお預かりし、必要としている福祉施設・団体等や生活困窮者へ無償で提供している非営利団体です

個人/必要としている福祉施設
行政/社会福祉協議会・団体

寄付いただきたい食品

- ・缶詰・レトルト食品・インスタント食品
- ・パスタ・そうめんなどの乾麺
- ・お米・のり・乾菜類・ふりかけ
- ・調味料（しょうゆ、食塩、みそなど）

お預かりできない食品

- ・賞味期限（※未開）が明記されていない食品
- ・賞味期限が2ヵ月未満の食品や開封されているもの
- ・生鮮食品（生肉・魚介類・生野菜）や冷凍で保管できないもの

コーププラザ8ヵ所は8月9日から16日まで夏季休業期間です。
問合せ 埼玉県本部 伊30とネットワーク推進部 ☎048(839)2711 9時～17時（土日祝休）

子ども食堂やフードパントリーとの関わり①



- 2019年度は県内の33カ所の子ども食堂・多世代型食堂・フードパントリーに食料品を提供
- 医療生協さいたまは“直営”の食堂を開設
- コロナ禍で中止となったイベント用の食料品や、配達できなかった食料品・日用品を提供



パルシステム埼玉の事例

物流過程でやむを得ず発生する青果を毎週月曜日に「一般社団法人彩の国子ども・若者支援ネットワーク」と「埼玉県子ども食堂ネットワーク」に寄贈

コープみらいの事例

さいたま市のウォーキングイベントが中止となり、予定していた協賛品（コープ商品）を埼玉県を通じて、「子ども食堂ネットワーク」と「埼玉フードパントリーネットワーク」に寄贈

写真ニュース

県内生協の活動を写真で伝える情報誌

2020
秋号
No.75

(2020年10月発行)

(県生協連の広報誌より)

生活協同組合コープみらい

県内13ヵ所でフードドライブを実施しています



フードドライブ食品寄贈BOX

家庭で保管されたままの食品を寄贈していただく「フードドライブ」の取り組みを4月から新たに3店舗（コープ春日部店、コープ熊谷店、コープ深谷店）で開始、埼玉県内の実施施設は13ヵ所（組合員施設8ヵ所、店舗5ヵ所）となります。

2016年から2020年8月までに4.1トンの食品を提供いただき、お預かりした食品は、「NPO法人フードバンク埼玉」を通じて埼玉県内の福祉施設・団体や生活困窮者へ提供されています。

生活協同組合パルシステム埼玉

「ホームステイ応援プチパントリー」に協力



5月29日（金）、埼玉県子ども食堂ネットワークが中心となり、子どものいる家庭に無料で食材を配る「ホームステイ応援プチパントリー」が行われました。学校の休業により活用できなかった食材など24トンを県内85ヵ所ある支援団体を通じて必要とする家庭へ提供しました。

パルシステムはキャベツや玉ねぎなどの青果を提供したほか、職員が物資の仕分け作業などに協力しました。

医療生協さいたま生活協同組合

健康格差をなくそう！フードパントリー開催



健康相談、血圧測定も同時開催

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、子ども（多世代）食堂が開催できない状況が続いています。それに代わり、食料品をお渡しするフードパントリーを9ヵ所で開催、健康相談も行ってきました。

食材は埼玉県子ども食堂ネットワークをはじめ、企業・団体・組合員の方々からの寄付やボランティア協力を頂き、いのちを支えるネットワークづくりをすすめています。今後も開催していく予定です。

生活クラブ生活協同組合

「生活困窮者への米の緊急支援」



埼玉ではフードバンク埼玉を通じて支援



（特非）てとてが行うフードパントリーへお届け

生活クラブはこれまで各地域で、子ども食堂や生活困窮者支援などの活動を支援してきました。この間の事態を受け、連携する福祉団体との情報交換をもとに、生活に困窮する方々に主食の米を少しでも早く届けることが一番の支援になると判断しました。

長年食の共同購入事業で提携関係にある生産者の協賛を受けることで、独自の物流システムを使い、6～7月にかけて約31トンのお米を全国の生活クラブを通じ、地域のフードバンクや子ども食堂等の生活困窮者支援団体78団体に届けることができました。

子ども食堂やフードパントリーとの関わり②



(医療生協さいたま フードパントリー)

食品・食材の無料配布会を開催します



フードパントリーは、「明日の食材に困っているかた」に無料で食材をお配りするための地域拠点です。

【お渡しする食材】

お米 乾麺 缶詰など



【日にち】 12月26日(土)【毎月最終土曜日】

【時間】 13:00~15:00

【場所】 老人保健施設みぬま 駐車場
川口市木曾呂 1347(埼玉協同病院 隣り)

【申し込み先】 ☎048-294-9222 (申し込み制)

FAX:048-294-8789

地域の食を応援する実行委員会事務局(老健みぬま内)

※ボランティアを募集中です。

当日の運営、食材の買い出し、配布セットなどのお手伝いを
していただけますか? (事務局まで)

「食の支援」いのちを支える活動のひろがり

	子ども(多世代) 食堂	パントリー 活動
おおみや診療所・CCおおみや	わいわいランチ	○
老健みぬま・埼玉協同病院・本部		○
川口診療所 他団体に場所提供		○
さいわい診療所 他団体に場所提供	みんなの食堂flat	○
大井協同診療所	お〜いココロンくらぶ	お弁当
所沢診療所・桂の樹・CCとこしん	桂の食卓〜桂ん家	お弁当
老健さんとめ/埼玉西協同病院	さんとめきらら	○
熊谷生協病院・熊谷生協CC&他団体	Happyくまここ	○

生協が持っている資源①



①人と組織

こども
未来ネットワーク
埼玉

こどもの未来
未来アクション

こどもたちの
未来に向けて

埼玉県 平成31年度子供の居場所づくり推進事業

子ども未来アクションに
参加し、貧困・格差問題を
学習

活動を継続するためには、
知ること・学ぶことから



2017年生協連学習会

NPO法人さいたまユースサポート
ネットの青砥さんを講師に招いて、
地域の実状を学ぶ



2019年生協連学習会

生協だけでなく、NPOや
地域団体、県少子政策課
職員にもご参加いただき、
活動報告を受けて交流



生協が持っている資源③



③組合員関連施設

パルシステム埼玉
‘ぱるてらす’



コープみらい
‘コーププラザ’



生活クラブ
‘くらぶメゾン’



今後について（課題と思われること）



この間の変化

- 地域における拠点の増加（子ども食堂・フードパントリー）
- 県内ネットワーク組織の存在
- コロナ禍の影響による困窮者の増加⇒食料が不足

今後について

- 地域内（市町村）拠点の見える化・地域内マッチング
- 一斉キャンペーンの実施など（広報・認知）
- 双方向のコミュニケーション（おたがいさまのつながり）
- 県内ネットワーク組織の共有や検討の場

事務局を担っている団体

・埼玉県消費者団体連絡会



関東農政局と消費者団体の意見交換会



埼玉県エコ農業推進戦略についてのヒアリング



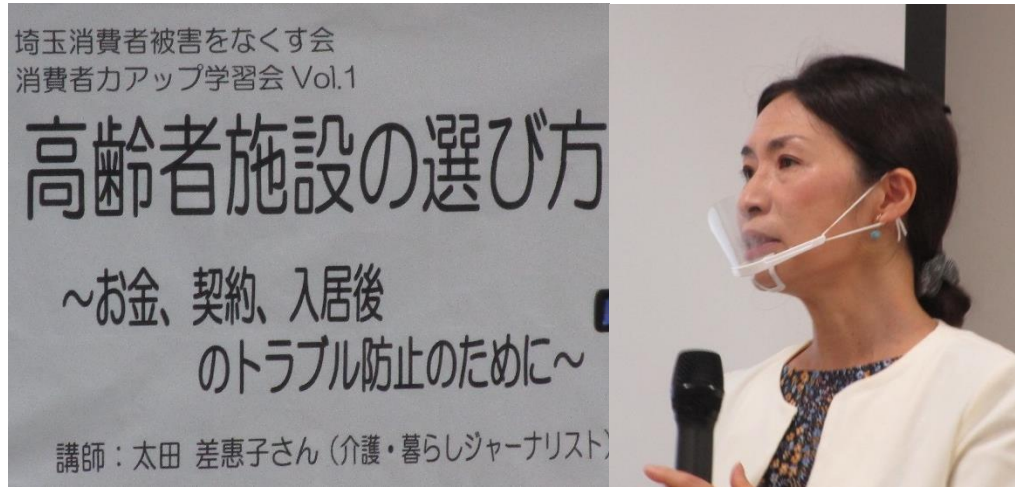
県内消費者団体全体研修会



第56回埼玉県消費者大会

事務局を担っている団体

• NPO法人 埼玉消費者被害をなくす会



消費者力アップ学習会「高齢者施設の選び方」



県立蓮田松韻高校でのマルチ商法・不当表示 広告についての啓発講座



消費者被害防止サポーター養成講座



被害回復訴訟提起記者会見